

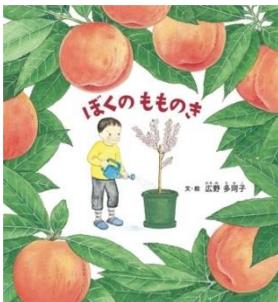
わ く わ く

5月号

本 だ な



えほん
1ねんせい〜



『ぼくのもものき』

広野多珂子／文・絵 福音館書店

ももの木^きがいえでそだてられると^きしたぼくは、なえを
か^きてもらいます。すぐ^きにきれいな花^{はな}がさ^きましたが、た
のしみ^みにしていたももの実^みがなりません。どうしたら、お
いしい実^みがなるでしょうか。

K913 『ちびおにビッキ』

砂山恵美子／作・絵 こぐま社

お^{がっこう}にの学校は、校^{こう}長^{ちやう}先生^{せんせい}の金^{かな}ぼうよりせが大きい子^こし
か入^{にゅうがく}学^{がく}できません。まだちいさいビッキは、じぶんも学
校^{がっこう}にい^いきたくて、お^にに^いちゃん^{ちゃん}をお^いかけ^{かけ}ました。する
と、すずめにつか^{つか}ま^まって空^{そら}へさ^{さら}わ^われて^てしま^まいます。

ものがたり
1・2ねんせい



物語
3・4年生



K913 『ゆくぞ、やるぞ、てつじだぞ!』

ゆき／作 かわいみな／絵 朝日学生新聞社

てつじは小学5年生の男の子。ステージで落語をひろうし
たり、鼻^{はな}でたてぶえを演^{えん}奏^{そう}したりするお調子者^{てうしや}です。そんな
てつじが、音楽まつりに参^{さん}加^かすることになりました。鼻^{はな}でた
てぶえをふくてつじは、入^{にゅう}賞^{しょう}できるのでしょうか。

物語
5・6年生

K913 『ふたりユースケ』

三田村信行／作 大沢幸子／絵 理論社

おがわゆうすけ
小川^{おがわ}勇介^{ゆうけい}は、引^ひっこし先^{さき}でいきなり町^{まち}の人^{ひと}たちにかこま
れます。2年前^{ふたねん}前に死^しんだ天才^{てんさい}児^こ・大川^{おほがわ}ユースケとそっくり
だったのです。ユースケの生^{なま}まれ変^かわりだと思^{おも}われた勇介^{ゆうけい}
は、彼^{かれ}のよ^ようになるための特^{とく}訓^{くん}を受^うけることになりま^ます。





えほん
1ねんせい～

『流木のいえ』
石川えりこ／作
小学館



えほん
1ねんせい～

『聴導犬くんれん生ふく』
鈴木びんこ／作
新日本出版社

えほん
1ねんせい～



『くらやみのなかのゆめ』

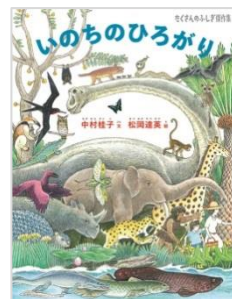
クリス・ハドフィールド／作 ザ・ファン・ブラザーズ／絵
さくまゆみこ／訳 小学館

クリスは、よるがにがてでした。けれども、あこがれのうちゅうひこうしが月におりたつシーンを見て、くらやみがこわくなくなります。まっくらだけどうつくしいうちゅうが、すきになったからです。

えほん
3年生～

『いのちのひろがり』

中村桂子／文 松岡達英／絵 福音館書店
わたしたち人間は、お母さんから生まれます。お母さんのそのまたお母さん…といのちのはじまりをたどっていくと、38億年前に生まれた1つの細胞にたどりつきます。地球のはじまりから現在までの、生きものの歴史を見てみましょう。



えほん
3年生～

『みどりの町をつくろう 災害をのりこえて未来をめざす』
アラン ドラモンド／さく まつむらゆりこ／やく
福音館書店



グリーズバーグの町は、たつまきにおそわれて家も学校もなくなりました。そこで、人びとは「グリーン（みどり）」の名前にぴったりの、自然のめぐみを生かした新しい町を作ろうと考えます。アメリカで本当にあったおはなしです。

ちしきの本
5年生～

K486 『わたしのカブトムシ研究』

小島渉／著 さ・え・ら書房
カブトムシの幼虫は、仲間どうし集まってくらしています。それはなぜでしょうか。また、暗い土の中でどのように仲間を見つけているのでしょうか。あまり知られていない、カブトムシの秘密が分かります。

